

八板家住宅主屋について

1 文化財の概要

- | | |
|----------|----------------------------|
| (1) 文化財名 | やいた け じゅうたくしゅおく
八板家住宅主屋 |
| (2) 所在地 | 西之表市西町6989 |
| (3) 建築年代 | 江戸末期（昭和30年代頃改修） |
| (4) 構造 | 木造平屋一部2階建 |
| (5) 建築面積 | 151㎡ |
| (6) 登録基準 | 造形の規範となっているもの |

2 特徴等

西之表旧港に位置する。間口四間半、奥行七間半、妻入で、通りに東面する。土間に沿って、二列各二室を並べ、奥に中の間を介し、奥座敷を突出させる。中の間上部に二階を設け、吹抜けの天井は舟底型とする。港町に残る近世町家の遺構として貴重である。

※ 妻入とは、棟木と直角の面を「妻」といい、妻側に出入口のある建物を妻入という。妻入は、神社建築に多く、民家にも使われることがある。

※ 県内の国登録有形文化財（建造物）の総数は、本件を含め121件

3 位置



4 写真



外観（西側）



内観（船底型天井）

写真提供：西之表市教育委員会

5 平面図



1 階平面図



2 階平面図



